

8. 子育て支援

(1) 高知版ネウボラの推進（平成29年度～）

県では、市町村の子育て世代包括支援センターを起点とし、妊娠期から子育て期まで切れ目なく総合的に支援する「高知版ネウボラ」の取り組みを推進しており、母子保健、児童福祉、教育など関係機関の連携を強化し、妊娠期から切れ目なく支援をつなぐ体制の強化を図るとともに、子育てしやすい地域づくりに向けた子育て支援サービスの充実を図る取り組みを進めている。

(2) 高知版ネウボラの取り組み

(ア) 地域子育て支援拠点等運営事業費補助金（平成27年度～平成29年度）

地域子ども・子育て支援事業費補助金（平成30年度～）

子ども・子育て支援法に規定する地域子ども・子育て支援事業に対して補助を行う。

(イ) 安心子育て応援事業費補助金（平成27年度～令和2年度）

地域子育て支援センター等機能強化事業費補助金（令和3年度～）

地域で子育て家庭が気軽に集い交流できる場づくりや、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるため、市町村や団体・企業への補助を行う。

(ウ) 地域子育て支援拠点環境改善事業費補助金（平成27年度～）

地域子育て支援拠点の環境改善を図る事業に対して補助を行う。

<地域子育て支援センター設置状況>

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
市町村数	23市町村 1広域連合	24市町村 1広域連合	24市町村 1広域連合	23市町村 1広域連合	24市町村 1広域連合	25市町村 1広域連合
箇所数 (出張ひろば)	48	52	48 (12)	49 (11)	49 (11)	50 (9)

(エ) 出産・子育て応援サイト「こうちプレマnet」の運営（平成16年度～）

すべての家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりを進めるため、妊娠期及び子育て期における適切な情報を提供することにより、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、平成16年度から子育て支援ポータルサイト「こうちプレマnet」を運用している。

プレママ相談（メールや電話による相談に助産師が回答）のほか、子育て応援の店の紹介など、安心して出産・子育てができる情報を提供しているが、より使いやすく、子育て世代に役立つ情報発信ツールとするため、令和4年10月に妊娠・出産・子育て応援サイトとして全体のリニューアルを実施した。新たに公式LINEを開設し、妊娠周期や子どもの年齢に応じたお役立ち情報をお届けするプレマLINEや、動画で子育てをわかりやすく伝えるプレマチャ

ンネルなど新コンテンツの追加等コンテンツの充実を図った。

<アクセス数・プレママ相談件数>

年度	アクセス数	相談件数	備考
令和元	43,335	144	
2	83,514	136	
3	93,666	195	
4	145,739	197	

(オ) 子育て応援の店 (平成19年10月1日～) 令和5年6月末登録事業所数 490店舗

(カ) 子育てサークル等のネットワークづくり (平成23年度～)

高知県内の子育てサークル等の登録などネットワークづくりを通じて、就学前の子どもを持つ子育て家庭が気軽に集い、相談できる場づくりの充実を進める。(令和5年5月末現在の登録数: 21団体)

子育て講座等実施委託事業 (令和3年度～)

子育て家庭の孤立感を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりを進めるため、地域住民が主体となった子育て支援活動のネットワーク化を図る。(令和4年度 子育て講座等の実施34講座 子育て交流会 2回開催 地域におけるネットワーク形成のための支援3地域)

(キ) 子育て講座の実施 (平成21年度～令和2年度)

地域における家庭教育や子育てを広く支援するため、子育て中の保護者等を対象とした子育て講座を子育て支援団体等に講師派遣を依頼して実施する。平成30年度から子育て支援アドバイザーの派遣(助産師)(平成19年度～)も子育て講座の中に位置づけ、「愛着形成」をテーマとした講座として実施している。(令和2年度 「愛着形成」19回 「家庭教育支援(7テーマ)」15回 合計34回実施)

(ク) 「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」に母子保健の専門知識を持つ相談員(助産師等)を配置(平成27年度～令和3年度)

妊娠初期からの不安や子育ての悩みなどに対する相談体制を強化。

電話・FAX・メール・対面での相談だけでなく、地域子育て支援センターや子育てサークルの活動場所に出向いた出張相談を実施した。(令和3年度で廃止)